

2019年度 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)
公表:2020年4月28日 事業所 :らく相談室まなえだ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 指導室は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。事業所の設備や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・活動によりスペースを分けることでわかりやすくなるようにしている。また、教材の配置を工夫することで主体的に活動できるようにしている。	・利用者によりわかりやすく、支援者にとっても使いやすい環境の整備を常に考えていく。
	4 指導室は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・定期的な清掃を心掛け、各スペースに室温、湿度計を配置し、室内環境を整えている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・職員の勤務日時が異なり、一同に集うことがないためコミュニケーションを図るための工夫をしていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者等向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所ホームページ等で公開している	○		・ホームページで公開すると共に受付に掲示している。	・ホームページで公開していることを保護者に知らせていく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現在は実施していないが、必要に応じて第三者による外部評価の実施を検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月2回所内研修を実施 ・外部講師を招き、特別研修をおこなった。	・今後も研修の機会を設けていく。
適切な支援	# アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	# 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	# 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	# 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			

の提供	#	支援内容が固定化しないよう工夫している	○		・スタッフ間で教材等の情報交換をおこなっている。 ・子どもの実態により手作り教材で対応、工夫している。	
	#	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・所内研修で「記録の取り方」についての研修を行った。	・支援内容の検証・改善につなげていける記録になるように、工夫・改善を続けていく。
	#	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	#	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	#	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	#	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当者なし	
	#	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当者なし	
	#	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	#	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・就学時に支援報告書を作成し、保護者を通して在籍校と情報共有している。	
	#	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	#	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	#	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・保護者同伴のため、毎通所時に支援内容を伝え、子どもの状況を共通理解出来るようにしている。	
#	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		・保護者の学びの場(まなえだサロン)を3回実施した。	・まなえだサロンを継続実施していく。	
#	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				

保護者への説明責任等	#	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	#	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・毎通所時に、保護者相談の時間を設けている。「困り感」を見極めた上で適切に対応できるよう心掛けている。	
	#	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・管理責任者に報告し、迅速に体制を整備して対応にあっている。	
	#	予定や連絡事項等を子どもや保護者に対して発信している	○		・所内に次月予定、連絡事項等を掲示している。	・情報発信のための通信の発行を検討している。
	#	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	#	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	#	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・災害時避難マニュアル、感染症マニュアルを作成し所内掲示している。 ・感染予防対策を保護者に依頼した。 ・迅速に新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止の対応を行った。	・コロナ感染拡大予防のために、よりよい対策を他機関から情報を得るように努力し、対応策を常に更新していくようにする。
	#	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・火災、地震時の避難訓練を定期的に行っている。	
	#	指導にあたり、健康面等に関して必要な状況を確認している	○		・感染症等への注意喚起と健康状態の確認を行っている。	
	#	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・日頃から環境整備を心掛けている。	・事象が発生した時は迅速に所内で共有し、改善策を講じる。
	#	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・外部研修に参加している。	・支援内容、方法を常に省みることで適切な対応、支援が行えているか意識化していく。